

# みくに



〈夏祭りの一枚〉

社会福祉法人 みくに園  
障害者支援施設 みくに成人寮  
TEL: (0879) 68-3104 FAX: (0879) 68-3920  
〒761-4661 香川県小豆郡土庄町豊島家浦902番地1  
HP: <http://www. teshimamikunien. com>

わたしたち強い者は、弱くない者の弱さ  
を担うべきであり、自分の満足を求めるべ  
きではありません。

(ローマの信徒への手紙 15章1節)

# 「献げる」

理事長　山田　久美

京都の同志社大学には、プロテスタントのレンガ造りのチャペルとしては日本に現存する最古の建物で、国の重要文化財に指定されている礼拝堂がある(1886年竣工)。みくに園の前身である神愛保育園を設立した祖父の寺田徳太郎(1899~1979)が福祉への道を志す原点となった場所である。祖父は食や住に困窮した人を自宅に招いて温かい食事や寝床を与え、弱い立場の人達への献身を生涯貫いた人であった。1939年の春、祖父は親交があった賀川豊彦氏(博愛の精神を実践した社会運動家)の懇請により、キリスト教を德育の基本とする同志社大学から豊島に赴任した。祖父によって豊島に小さな一粒の福祉の種が蒔かれ、現在のみくに園の設立に繋がったのである。

私がみくに園の理事に就任した三年前、京都在住のみくに園の保護者の方が、祖父の足跡が記された同志社大学出版の書籍をみくに園まで持参してくださいました。その折「今のみくに園の福祉の原点は、弱い人達のために自分を献げた寺田徳太郎氏のキリスト者としての尊い働きにある。」と熱く語ってくださいり、その一つひとつの言葉に感銘を受けたことが、今もなお深く心に刻まれている。

みくに園を設立し、初代理事長である父の高田久(1928~2018)が天に召される前年の初夏、私は父と共に祖父が熱心に通った同志社大学の礼拝堂に招かれた。そして、祖父の面影が残るその礼拝堂で讃美を獻げる貴重な機会を得ることができた。一世紀近く前、祖父がどんな思いで福祉への情熱を育み、献身の道を歩んだのか、莊厳なオルガンの調べの中で思いを馳せた。

本年5月28日、私はみくに園の第3代理事長に就任した。みくに園の利用者さん達は、障がいがあっても毎日自分の花を精一杯に咲かせ、一人ひとりがそれぞれの人生を懸命に生きている。親元を離れて施設で暮らさなければならぬ人達に寄り添い、彼らの幸せを願って日々努力を重ねる者でありたい。

自分を献げ、財産を献げて、弱い人達の弱さを担って立った先達の思いを心に刻んで前進した先に「真の福祉」がある。

## 香川県応援ファンドによる寄附をいただきました



この度、香川県応援ファンドにより福祉車輌の寄附をしていただきました。香川県応援ファンドとは、岡三アセットマネジメント株式会社（本社：東京都中央区、取締役社長 塩川克史氏）が設定・運用する地域応援ファンドの信託報酬の一部を社会福祉向上のために寄附をする活動です。5月24日に香川県庁で寄附の目録の贈呈式が行われ、高田安司前理事長が出席いたしました。納車は秋ごろの予定です。詳細は次号のみくにだよりでご報告いたします。コロナ禍で暗いニュースの中、私たちにとって励みになる出来事です。関係者の皆様、ありがとうございました。大切に使わせていただきます。

（高橋 記）

☆左より

香川県健康福祉部部長 三好様

社会福祉法人みくに園 前理事長 高田

香川県知事 浜田様

株式会社百十四銀行 取締役頭取 綾田様

香川証券株式会社 常務取締役 西原様

岡三アセットマネジメント株式会社 取締役社長 塩川様



## みくに船救命胴衣研修

2022年4月、北海道の知床半島の沖合で、乗客、乗員26名を乗せた観光船が沈没するという痛ましい事故が起こりました。未だ行方不明の方がおられ、ご家族やご遺族の心労を思うといたたまれません。当施設も、職員の通勤や、利用者さんの通院・外出等で船を運航しているため他人ごとのようには思えず、恐怖さえ覚えました。もちろんみくに船は安全運航を行い、強風や濃霧時は欠航します。船長が欠航の判断を迷わないように管理職以外の者は直接船長とのやり取りは禁止しています。日々、慎重に判断し運航しています。しかし、事故はどのような形で起きるのかわかりません。もしもの場合に備え、利用者さんの命、自分たちの命を守るために、船長が中心となり、研修を行いました。2日間に渡り全職員が参加し、救命胴衣の着用の仕方をはじめ、みくに船には、どのような救命具が設置され、どのように使用するかなどを学びました。

離島にあるみくに園にとって船はなくてはならない存在です。大切な命を乗せていることを肝に銘じ、今後もみくに船は、安全第一で運航していきます。

（高橋 記）



〈救命胴衣研修の様子〉



〈救命胴衣の保管場所〉



〈救命いかだ〉

## いちご家のかき氷

1番館の利用者の皆さんと一緒に豊島にあるスイーツ店「いちご家」に行きました。6月に入り、気温も上がり一気に夏を感じるようになつたある日の散歩道、一人の利用者さんが「かき氷食べたい」とポツリ。その一言が他の利用者さんに伝わり、「かき氷食べたい！」の大合唱。その思いを実現させようと、いちご家さんの協力のもと、お店を貸し切りにしてのかき氷ツアー。フワフワの氷に、トロつとした甘酸っぱい苺ソース。美味しすぎてキーンとなり頭を抱える利用者さんもいました。

ちょっとぴり早く、夏を先取りすることができました。（佐藤 記）



## ミニ運動会

1番館で「ミニ運動会」を開催しました。

玉入れやリレーでは2チームに分かれ、勝敗を競いました。また、毎年恒例のパン食い競争では、お目当てのパンをめがけて一目散に走りました。自分で勝ち取ったパンの味は格別でした。

（佐藤 記）



## 七夕飾り

七夕に向けて、七夕飾りを制作しました。1枚1枚折り紙を丁寧に貼り、輪飾りや星飾りなどたくさんの飾りを作りました。色とりどりの短冊には、「美味しいものが食べたい。」「買い物に行きたい。」などそれぞれの願い事を書き、笹に結びました。7月7日の昼食には厨房が作ってくれた七夕メニューが並び、皆で七夕を楽しみました。皆の願いごとが叶いますように……。（古川 記）



## 夏祭り

1番館利用者の迫力あるソーラン節から始まった夏祭り。コロナ禍前は豊島の中学生が必ず夏祭りに披露してくれていた踊りです。この日のためにメンバーはYouTubeを見ながら一生懸命練習しました。みんなが一体になり手拍子や掛け声をかけ、さあ、今年も夏祭りの開催です。

（高橋 記）



## 夏祭り

3番館の夏祭りは、くじ引きや輪投げで盛り上りました。利用者さんは景品やたくさんのお菓子をゲットして、とても楽しそうでした。昼食には、焼きそばやたこ焼き、フランクフルトなど定番の屋台メニューが並び、「食べること」でも夏祭りを味わいました。皆、笑顔あふれる楽しい1日となりました。来年は1番館や豊島の中学生と一緒にもっとぎやかな夏祭りが開催できることを願っています。（古川 記）



## 環境整備

毎年恒例の環境整備を5月に行いました。例年は地域の方や保護者の皆様と一緒に協力しながら行っていましたが、今年も新型コロナウイルスの感染拡大を考慮し、残念ながらみくに園の職員のみで実施しました。

今回環境整備を行ったのは敷地内全体の草刈りと溝掃除です。溝掃除はこれから台風や大雨への備えもあります。力のあるメンバーは草刈り機を肩に担いで、背丈ほどにたくましく成長した草木を刈りました。細かい作業が得意なメンバーは溝に蓄積された葉っぱや泥を丁寧に取り除きました。当日の天候は晴れ。休憩時間に飲む冷たいスポーツドリンクがとてもおいしく、身体に染み渡りました。



環境整備を行うことでできる対策を2点紹介します。まずは蛇対策です。蛇は基本的に臆病な性格で、天敵から身を隠すために茂みの中に巣を作ります。その茂みを刈り、無くすことで、蛇が巣を作りにくい環境を作ります。

次はイノシシ対策です。みくに園がある豊島ではイノシシがよく目撃されており、農作物への被害もたくさん出ています。イノシシはもともと警戒心が強い生き物です。嗅覚に優れており、においにも敏感ですが、実は視覚も重要な役目を持ち、鼻と目を使って安全な場所を判断するそうです。草が茂っている耕作放棄地や休耕農地などは薄暗く、イノシシが好む絶好の住処です。その逆に明るくて見通しが良く身を隠せない場所を嫌います。草刈りを行うことで、見通しを良くし、警戒心の強いイノシシが、近寄らないようにします。

環境整備は見た目を綺麗にする他に害獣対策も一緒にできる大切な作業です。また、作業を通して人々が円滑なコミュニケーションをとることができる場とも言われています。

次回は是非ともたくさんの方々と関わりを持ちながら環境整備を行い、一緒に汗を流したいと思います。

(宮本 記)

## 実習生受け入れ

6月13日～24日までの10日間、高松大学発達科学部子ども発達学科の学生3名の実習生を受け入れました。ずっと、新型コロナウィルス感染症の影響で、実習生の受け入れを中止していました。3年ぶりに受け入れることができ、そして、無事に実習を終えられたことに安堵しています。次の福祉の担い手として、みくに園で学んだことを役立ててほしいと思います。



〈実習生さんと〉

## 1番館カーテン取り換え



1番館の居室のカーテンが劣化していたため、全室取り換えを行いました。防炎機能はもちろんですが、今回は遮光機能が高いものにしました。外からの光を遮断することで、冷暖房の効果も高くなります。また、朝日や西日がまぶしい部屋も快適に過ごせます。色はさわやかなグリーンです。

## しまふくし



SHIMAFUKUSHI  
インスタグラム  
QRコード

令和4年5月をもちまして、高田安司理事長が辞任致しました。みくに園設立から長年みくに園のためにご尽力いただき感謝の意を表します。これから、山田久美理事長のもと、職員が一丸となりみくに園の発展のために取り組んでいきます。

## \* レモン商品値上げのお知らせ \*

原材料価格上昇のため、この度レモン商品の価格を値上げいたしました。いつもお買い上げいただいているお客様には誠に心苦しく思いますがご理解のほどよろしくお願ひいたします。引き続き、みなさまに美味しいレモン商品をお届けできるよう努力いたします。



### 新価格

ロールケーキ	1,300円
マーマレード	600円

(税込み)



### 新価格

レモンケーキ	200円
5個入り	1,100円
10個入り	2,200円

(税込み)

## 編集後記

今号では、救命胴衣研修や環境整備など、「備え」についての記事が多くありました。救命胴衣研修ではいくつもの質問が挙がり、職員も真剣な表情で船長の話を聞いていました。何かあってから対処するのではなく、きちんと備えておくことの重要性を職員が再認識する場となりました。これから台風のシーズンです。万全に備えて利用者の方の安全を守っていきたいと思います。

\* みくにだよりへのご意見をお待ちしています。

E-mail:kgk0331@nifty.com FAX:0879-68-3920